

# Handsome

## CONTENTS ◆ 8月納涼例会開催 ◆ 県出向理事ご挨拶

● 第24回ジュニアトライアスロン ● 委員会紹介 ● 境港地区OB交流会開催 ● 会長連載[Spur]

◆ 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 秋里武信 ◆ 編集責任者/担当 副会長 権田和志 ◆ 制作・編集 第44期広報委員会/委員長 恵比木 健

## 8月納涼例会開催 ～トライアスロン振り返り、委員会活動方針発表～

平成30年8月17日(金) 皆生温泉東光園に於いて8月納涼例会が開催された。当日は各委員長の所信表明が行われた。また、ゲーム形式で会員の親睦を深め、第38回全日本トライアスロン皆生大会を振り返ることで様々な活動に従事してきたことを慰労する内容で、例会担当は水野委員長をはじめとする第44期正副委員長が務めた。

冒頭、秋里会長より「第44期がスタートして通常総会・懇親会から始まり様々な事業があったが、会員全員の協力を得て事業を乗り越え素晴らしいロケットスタートが切ることが出来た。本日の納涼例会で更に結束してこのままの勢いで一年間臨んで頂きたい」と挨拶された。



続いて、秋里会長より新入会員へバッチ授与があり、白井新入会員は力強く抱負を語られた。次に、先日、第5子が誕生した足立(鷹)会員に秋里会長よりお祝いの贈呈をされた。足立(鷹)会員は「今まで以上に子育て・中央会活動に使命感を持ち邁進していきます。」とお礼を述べた。

そして秋里会長より会員全員の労をねぎらい乾杯の発声で宴が始まった。

はじめに当会の継続事業トライアスロン皆生大会のボランティア活動をスライドショーで振り返った。続いて実行委員長・各部長・出場選手



より挨拶があり、大会を終えてあらためてそれぞれの感想や会員への感謝を述べた。またボランティア部長の田中(猛)OBからもVTRでメッセージが届けられ、実行委員長・各部長・出場選手の想いや苦労などを会員内で共有できた時間となった。

いよいよ委員会対抗のPRタイム獲得競

争が始まった。各委員会紹介に設けている5分のPRタイムに対して時間を増やすために競うアトラクションは「二人羽織」。PRタイムを増やすために二人の呼吸を合わせて進めるが見当違いの動きがあり、委員会メンバーより声援・怒声ありの笑いを誘った獲得競争となった。続いて各委員長の所信発表及び委員会メンバーの紹介時間となり、音楽を活用したパフォーマンスやキャッチボールで熱い思いをお互いにぶつけるパフォーマンス等もあり、各委員長がそれぞれ趣向を凝らした発表で会場を盛り上げた。

最後の中締め挨拶では三輪直前会長より「今日は各委員長の新たな一面を見られた楽しい納涼例会となった。7月から様々な活動で多忙を極めたが一段落したので、これから腰を据えて中央会活動に臨んで頂きたい」と第44期を期待した激励の挨拶を述べられた。

今例会はアトラクション等で大変賑やかに盛り上がり、また、各委員長の熱い所信表明を聞き1年間の活動に対する士気が更に高まった納涼例会になった。

(記事:本田)



### 8月納涼例会を終えて

水野孝一 (ステッカー工房 代表)



まずは始めにお盆休み明けでご参加されにくい中、8月納涼例会にご出席していただきました会員の皆さまに感謝申し上げます。

今回の例会は納涼例会として、猛暑の中、7月8月に様々な中央会活動や第38回全日本トライアスロン皆生大会で活動された会員の皆さまへの慰労、そして委員長所信を全会員で聞くことで会員の絆を深め、第44期が勢いあるスタートをさせるという目的の下で企画いたしました。トライアスロン振り返りでは実行委員長、各部長、選手の皆さまが個々に思っている熱い思いを語り、そして会員が真剣に耳を傾ける姿がとても印象に残っております。

委員長所信発表では、第44期の活動に向けての思いを存分に語ってもらい、各委員長の個性が出た素晴らしい所信発表になったのではないのでしょうか。

また今回はアトラクションとして「2人羽織」を企画させていただきました。委員長所信及び委員会メンバー紹介のPRタイムを獲得するために各委員会メンバーが一丸となり、盛り上がったアトラクションになりました。

今回の8月納涼例会は第44期正副委員長で企画・運営をさせていただき、忙しい中にご協力していただきました正副委員長の皆さまにお礼を申し上げます。

最後となりますが、開催にあたりご協力をしていただきました東光園さま、そして多くの出席をしていただきました会員の皆さまに改めてお礼と感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

# 県出向役員ご挨拶



県出向専務理事 堀尾裕之

(米子信用金庫 総合企画部 総合企画課 課長)

第44期県出向専務理事を務めさせていただきます堀尾裕之です。先の県総会では遠いところ、多くの会員の皆さまにご出席いただき、そして「異議なし」を頂戴しましてありがとうございました。あらためて身が引き締まった瞬間でした。

私にとっては初めての役員就任であり、わからないことばかりではありますが、経験豊富な西部の県出向役員の皆に支えられながらも、しっかりと勤め上げてまいり所存であります。そして専務理事として濱田県会長をサポートし、東部、中部とも連携を密にして、今期テーマ「共鳴和音」の音色を奏でられるよう取り組んでまいります。

今年の県事業は我々西部が主幹にあたります。各事業には多くの参加をいただきたいと思っておりますが、皆さんに“参加したい”と思ってもらえるような事業になるよう、県出向役員一同、頭をひねっているところです。皆さまのご参加、お待ちしております。1年間、どうぞよろしく願いいたします。



県出向理事 道田直樹

(有ビルト・ミチダ 専務取締役)

第44期 県出向理事を拝命致しました道田直樹と申します。

県出向理事という初めての役職で不安はありますが、諸先輩方から受け継がれた教えをもとに、微力ながら努めて参ります。

濱田県会長が掲げられた今期のテーマ「共鳴和音」。秋里会長が掲げられた今期のスローガン「使命感」をもって県出向として貪欲に学べる活動、お役に立てる活動をしていきたいと思っております。

1年間どうぞよろしく願いいたします。



県出向理事 村田 博

(村田家株 代表取締役)

皆様、こんにちは！今期、県出向理事を拝命致しました村田博です。前年度も、県出向理事をさせて頂き、様々なことを学び、そして経験させて頂きました。今年度の県事業が昨年同様、

更には、より一層盛り上がるように、微力ではございますが、東奔西走して参りたいと思っております。今年度は西部が主幹地区になっております。皆様が、参加したくなるような事業を考えておりますので、今年一年、どうぞ宜しく願い申し上げます。



県出向理事 永井拓未

(株クラム 営業部 部長)

私は中央会に入会して、様々なことができるようになりました。それは自分の能力が向上しただけではなく、人を知り、人の力によって成長できた部分が大きいです。県にでて東部、中部の方々と交流ができれば、より成長でき、幅も広がるのではないかと期待しています。会員の皆様に県の事業に関心を持っていただき、もっと行きたくなるような企画をしていきます。1年間よろしく願いいたします。



県出向理事 岡田英憲

(株ライトスタッフ 取締役)

この度、県出向理事を拝命いたしました岡田英憲と申します。先日の県通常総会では、ご承認いただき誠にありがとうございました。まだ入会歴も浅く経験値も少ない中、このような大役を仰せつかり、不安な面もございますが、経験豊富な方々のお知恵も拝借しながら、しっかりと県の事業を盛り上げ、東部・中部・西部の団結をはかってまいりたいと思っております。一年間、全力で取り組んでまいりますので、何卒よろしく願い申し上げます。



県出向理事 木嶋康之

(株D・I・P)

まず初めに、先日の県通常総会にてご承認ありがとうございました。今期は、西部が主幹となって濱田県会長が掲げられた「共鳴和音」のテーマの下に、各地区の垣根を越えて自己の成長を通じお互いを高めあえる事業を行なってまいります。

具体的にはこれから委員会にて検討するところではございますが、皆様に参加したいと言って頂けるまたは、参加しないと損と思われる事業を目指し、1年間全力でがんばって参りますのでよろしく願いいたします。



県出向監事 奥森秀夫

(新和産業株 工事部統括部長)

第44期鳥取県中小企業青年中央会、県出向監事を拝命いたしました奥森秀夫です。

濱田県会長が掲げられました、テーマ「共鳴和音～気付きを以って共に築く～」をしっかりと各地区会員の皆様に浸透できるような事業を県出向理事の皆様と作り上げていきたいと思っております。また、県出向監事という役を頂きましたので東部、中部と各地区から学びながら1年間務めさせて頂きます。県事業への多数の皆様のご参加をお待ちしております。

# ジュニアトライアスロンのボランティアに行ってきました

8月19日、「第24回オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆大会」のボランティアに参加しました。現役会員からは私を含め11名が集まり、灰色のボランティアTシャツに袖を通しました。朝早くから伯耆町総合スポーツ公園は選手とその家族、ボランティアで賑わっており、地元での認知度の高さを実感しました。県外からの選手を含め約230名もの小・中学生が参加し、当会の秋里会長、野口(浩)会員、徳中会員のお子様も出場されていました。真っ黒に日焼けした子どもたちが一生懸命にゴールを目指す姿はとても素晴らし



く、正直「せっかくの休みだから朝はゆっくりしたかった」と思っていた私も心打たれ、明日へのエネルギーをもらった気がします。第1回大会を開催された先輩方の「子どもたちが地域と関わり健全に真っす

ぐ成長するように」という想いはお地蔵さまフェスティバルも同じです。開催内容は違いますが、このような地域との関わりはとても有意義なことだと改めて思いました。  
(記事:恵比木)



## 委員会活動紹介 政治行政委員会

副委員長 安達信彦  
(株平設計 設計課長)

8月7日(火)米子市公会堂に於いて第2回政治行政委員会を開催致しました。

第1回委員会にて行った水野委員長の方針説明に基づき、雇用に関する諸問題の調査・研究を行っています。その糸口として、ハローワークという場所を通し、求職者側、企業側双方の立場で考え、これからの雇用の在り方を模索します。

今回は、10月担当例会に向けての企画検討の真っ只中。まずは、鳥取県立米子ハローワークより、福岡所長、就業支援員の田中様のお二人にお越しいただき、県立ハローワークの勉強会を行いました。講師のお二人とのディスカッションに委員会の熱も高まり、ノンバルへと場所を移した懇親会でも、白熱した議論が続きました。この熱を会員の皆様にも感じて頂くべく、10月担当例会ではディスカッション形式にて、会員の皆様にご覧の雇用について、意見交換をして頂き、行政機関と問題意識の共有を図りたいと思います。

また、7月28日(土)には、米子がいな祭のボランティアに参加してきました。駐車場警備という一見目立たぬ仕事でしたが、暑い日差しの中、祭りが滞りなく進行するように、陰ながら支えてきました。日頃の中央会活動を支えて下さる市民の方々へ、少しでも恩が返せたかと思えます。



## 新入会員会社訪問

(株)カーロード山陰 濱 真一会員



猛暑続く8月半ば、内浜産業道路を境港方面に向かいファミリーマートの手前にダイハツの看板が目立つ、濱真一会員の仕事場にお邪魔。濱店長が『にこっとさま』の様な笑顔で迎え入れてくださいました。

8月例会の直後ということもあり、始めの質問は中央会についてお聞きしました。紹介者の山口尚文監事(山進運輸(株))は幼馴染で、木嶋康之県出向理事(株D・i・P)とは自動車保険の繋がりもあり5月に入会。今期は、中村友紀(株サンイントウエイ)委員長のビジネス経営委員会で、しっかり勉強したいといった意欲が伺えました。

仕事の話では、指定整備工場もあり車の取扱も新車・中古車問わずオールジャンルですが、常にお客様に寄り添う車屋さんをモットーに、ちょっとしたことでも寄って頂けるよう、ヘッドライト磨きは片目から対応、フロントガラス撥水コーティングなど、きめ細かな分かりやすいサービスの会話から人柄が伝わり、濱会員へのイメージが変わりました。また、情報発信にFacebookやInstagramを活用されておられます。

城・神社等がお好きというお話も聞けましたが、当時の建築様式に拘りがあるそうで、近代改修されエレベータや自動ドアの付いた城に疑問を感じていらっしゃいました。

来店される方も多い中滞在約50分。次回はお城についてゆっくり語り合ひましょう。  
(記事:赤井)

## Kaike Triathlon volunteer

# もうひとつのトライアスロン 徳中太慈 (大連 店長)

早朝の壮行会から深夜の片付けにわたる中央会のトライアスロン。しかし、私の本当の勝負はここから始まります。翌日お昼の閉会式にむけて、1,000人分の食事を6人のスタッフで用意するのです。そんな私の2日間を以下にレポートします。

7月15日

- 6:00 出場選手の応援。
- 10:30 エイドステーションでの活動や選手の応援、出来る事を精一杯行う。
- 23:30 長砂倉庫での片付けを終え急いで店の厨房へ。ここから翌日のトライアスロン閉会式の為に、1,000人分の料理を6人のスタッフで作りはじめます。

7月16日

- 4:00 揚げ物、焼き鳥等、全体の約半分が完成。この頃には油に酔ったり眠気が来たりで段々スタッフの口数が減ってくる。焼きそばを作り続け、他の種類を茹で続け、ひたすら盛りつけ。ラストパート。
- 7:00 予定通り全て完成。料理を車に積み込みコンベンションセンターへ何往復もかけて運ぶ。
- 10:00 保冷車で20玉のスイカをカット。

11:00 ~ 11:30

閉会式後の食事が無事に終了。

13:00 会場の撤収、店の片付けを終える。



こうして31時間に渡る私のトライアスロンはゴールとなりました。毎年同じようにトライアスロンの仕事をさせて頂いていますが、こんなにも長く、充実した2日間は初めてです。選手、中央会メンバー、ボランティアの方々からたくさんの元気を頂きました。この経験と頂いた元気を今後の中央会活動、また地域の発展の為にどんどん使っていきたいと思えます。

会長連載

# Spur ~シユプール~

第44期 会長 秋里武信

# 軌跡

第44期もスタートして、あっという間に2ヶ月が過ぎようとしております。会員皆様のご協力のもと、怒涛の7月、8月も無事に乗り越えることができました。ありがとうございました。

そして、いよいよ各委員会を中心とした事業が始まります。今期は個性溢れる委員長が揃っていますので、各月例会も楽しみにしておりますが、このハンサムの特刊も、その期の色が出る大切な事業です。広報委員会の皆様、一年間よろしくお願いたします。

また、恵比木委員長より『会長！何を書いてもらっても構いません。連載をお願いします！』との依頼を受け、11回の連載を書かせていただくこととなりました。この世に生を受けて44年、中央会に入会して9年の間で感じたこと、学んだこと、やってきたこと等、思いつくままに書かせていただこうと思います。泥臭い話にはなるうかと思いますが、こちらもよろしくお願いたします。



## 境港地区中央会OB交流会

戸田博之(神戸戸田油店 取締役)

平成30年度境港地区中央会OB交流会が、8月18日に境港市幸神町の喫茶ウイング本店で開催されました。毎年お盆休み明け最初の土曜日に開催されるこの会は、今年はOB会員21名にご参加いただき、境港にゆかりのある総勢40名が集い、賑やかで笑い声の絶えない楽しい会となりました。

「楽しく元気に飲みましょう！」という足立統一郎OBの挨拶、そして土井一朗OB会長の乾杯で始まった交流会は、境港の会ならではのアットホームな雰囲気が進みました。しばしの歓談の後、秋里会長の挨拶、新役員挨拶が行われ、OB会員より激励を頂きました。続いての新入会員紹介で、明穂会員と白井会員が新たに会のメンバーに加わりました。そして、ご卒業された浜田貴稔OB、田中真紀子OGのお祝いに花束と記念品が贈呈されました。

中締め挨拶は浜田一哉OB。最後は乾杯で、大いに盛り上がった平成最後の境港地区OB交流会は閉会しました。そして勢いそのままに二次会会場シーズンへ！楽しい夜はもう少し続きました。来年のお盆明け最初の土曜日、境港にゆかりのある皆様のご参加をお待ちしております！



## 盛況！中央会屋台 in 水郷際

8月4日(土)・5日(日)の2日間、松江水郷際が開催され、今年も西部青年中央会から現地屋台を出店し、大盛況であった。

今年の担当は、ビジネス経営委員会及び地域ビジョン委員会の2委員会。猛暑続きで当日も気温35度を記録する中、中村委員長・山内委員長を筆頭に両委員会のメンバーが協力し、水郷際に訪れた人々へ料理や冷たい飲料の販売を行った。

目玉は、『炉端かば』提供、マグロで作ったパテをバンズで

挟んだ『マグロバーガー』。周囲に多くの飲食屋台が並んでいたが、類を見ないメニューの提供に、筆者が取材で訪れていた短時間の間にも飛ぶように売れていたのが印象的であった。



### 〈新入会員〉

**白井 知弘** A型  
 株伯書のきのこ 営業・総務課長  
 菌床きのこの製造販売  
 〒689-3552 西伯郡日吉津村富吉114番地  
 TEL 30-4157 FAX 30-4158  
 (KT) 090-7597-7407  
 (EM) shirai-t@amail.plala.or.jp  
 S 54.06生

（総務45周年記念事業委員会）  
 H30.08 (H30年度) 入会  
 (推薦者) 長谷川(恵) 森下(知)

〈コメント〉皆様と活動をさせていただきます伯書のきのこの白井と申します。しっかり活動ができた実感できるように会の活動に積極的に取組んで自身の成長を図り、しっかりと話し合える仲間を増やしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



秋里会長やOB会員の先輩方も暑い中激励に見えられ、例年に劣らず、今年も暑い水郷際への参加事業となった。  
(記事:石田)

## お誕生おめでとう



### 足立 一花ちゃん 足立鷹大会員

(株八百屋トマト 代表取締役)

平成30年6月11日AM6時53分に3,300gの女の子が誕生しました。

大人になっても5人仲良くしようね。という意味を込めて、次男、次女の名前から1文字ずつとり「一花(いちか)」と名付けました。由来の通り5人仲良くすくすくと育ててほしいです。

### 9月役員会報告

平成30年9月3日(月) 米子市公会堂 集会室6にて9月役員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・8月例会開催の件
- ・会員拡大プロジェクトの件
- ・45周年事業報告の件
- ・9月例会開催の件
- ・10月例会開催の件

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

### 編集後記

今期の広報委員会テーマ『変わらないためには変わらなきゃ』。委員会ではいろいろな「変わらなきゃ」に取り組んでいるところです。まだまだこれからですが、ハンサム紙面上で読者の皆様にその成果をお見せできるよう失敗を恐れず皆で挑戦していきます。

(広報委員会 副委員長 小谷泰樹)